

令和4年度 第2回 区民対話会 要旨

1 日 時 令和4年12月1日(木) 11:00～12:00

2 場 所 稲毛区役所 3階 講堂

3 参加者 稲毛土曜にほんご学校：1名

敬愛大学：教職員2名、大学留学生5名

千葉県宅地建物取引業協会千葉支部：4名

千葉市

国際交流課：1名

花見川・稲毛環境事業所：1名

稲毛区役所：稲毛区長、副区長、地域振興課職員3名

4 テーマ 稲毛区地域課題解決支援動画等作成について

5 概 要

(1) 趣旨説明

昨年度、町内自治会などの地域住民や学生の方々と意見交換を行ったところ、地域の課題として、ごみ出しルールが守られないという意見があった。

区としては、地域で活動している方、街をきれいにしようと志している方々のために何かできないか検討した結果、ごみ出しルールの周知徹底、地域の方々がごみステーションをきれいにしてくれていることを伝えるための動画を作成することとした。

稲毛区の特徴として、大学や専門学校が多く、親元を離れて初めて自身でごみ出しを

行う学生や文化の違う留学生が多いことから、主に外国人をターゲットとした課題解決に向けた動画作成のための意見交換を行いたい。

(2) 行政説明

作成予定の動画の全体構成案を絵コンテ入りの企画提案書により説明。

(3) 留学生の意見

- 初めて親元を離れて一人暮らしを始めた学生の中には一人暮らしのごみの量くらいなので切実には考えていない学生もいる。
- 大学のガイダンスでゴミ出しルールの説明をしており、留学生はゴミの分別について概ね理解している。
- ベトナムでは、朝6時半に家の前に出すと毎日回収してくれるが、日本では可燃ゴミの回収は週2回程度なので生ゴミが臭ってしまい不便である。
- ルールを守らない外国人はルールをわかっていないと思う。
- 日本のごみ分別は細かすぎるが、環境面を考えると仕方ないのかなと思う。
- ベトナムではゴミの分別は厳しくなく、来日当初は日本語がわからず、ゴミ捨てはチャレンジであった。当初は分別がわからず、ゴミを回収してもらえないこともあった。
- 市町村によってルールが違うので、引っ越しをしたときは大変。

- 来日当初は日本語がわからないので、区役所で聞くことも大変である。日本語学校・大学のガイダンスなどでもっと詳しく教えてもらい、理解することができればルールは守れる。
- ベトナムでは缶とビンはお金になるので、ごみは少なかった
- 中国では分別はなかった。粗大ごみは電気屋などでお金になるが、日本では粗大ごみを出すと逆にお金を取られる。リサイクルを進めるべき。
- 敬愛大学の留学生はガイダンスなどで周知をしているので、ルールが比較的守られている。

(3) 意見交換

- 学生には、ごみを出す時間が指定されているのは、不便か？
 - ⇒ 寝るのが遅いので、早朝にごみ出しをするのは大変とを感じるが、日本に住んでいるので日本のルールは守る。生ごみが溜まると臭いが気になる。正月などにごみの日を増やしてくれると便利である。
- 留学生に対しては、大学からごみ出しのガイダンスがあるとのことだが、大学生以外には、どうやったら理解してもらえる？効果的なシーンは？
 - ⇒ 外国人同士が地域でコミュニティがあるわけではないので、学生以外は難しい。留学生ではない外国人家族が来日した場合、来日したタイミングで案内できるのがよい。

○ 日本のごみ出しルールは複雑だが、外国人の友達同士で話をしたりする機会はあるのか？

⇒ 学生の友達とは、このごみはどうやって捨てればいいのか？などの話はする。

⇒ 留学生の皆さんが日本のごみ出しルールにしっかりと取り組んでいることがよくわかった。地域で暮らしている方全員に、皆さんのように高い意識を持ってもらえれば、もっと街がきれいになっていくと思う

○ 外国人に動画をたくさん見てもらうために、QRコードがあると興味を持ってもらえると思うか？

⇒ 何のQRコードなのかを示すことは大事。言葉の意味がわからなくても、動画やイラストであれば理解できることはある。

○ インターネットで検索する際は日本語と母国語、どちらで検索するのか？

⇒ 日本のことを調べるなら日本語のほうがよいが、来日してすぐは母国語しか使えない。漢字は難しく理解ができない。

○ ごみの分別などを調べるときは、ネットなのか紙なのかどちらで調べるのか？

⇒ ホームページが多い。今は日本語が読めるが来日当初は友達や先生に見てもらって大変だった。

⇒ 千葉市のホームページでは、数か国語のパンフレットをダウンロードできる。一方、チャットボットは日本語のみ利用可能。

○ 日本でごみの分別を行う理由は、ごみの種類によって行先が異なるため。そのため、回収する車も違うので、混ざると回収することができない。そういうことを説明していないからわかりづらい部分もあるかもしれない。ライターやスプレー缶は燃えないごみとは分けておかないと収集車が火災を起こしてしまうという事情もある。そのため、ごみの取り残しはやむを得ずの対応である。

ただ分別してくれと言うのではなく、その前段階として、なぜ分別する必要があるのかという理解をしてもらうことが必要かもしれない。

○ 中学1年生の外国人にペットボトルの捨て方を聞いたら、ラベルを剥がすなどよく理解していた。ルールを守るためには教育が大切。海外ではそもそも分別をしていないところも多い。

○ 動画には分別の種類が多いこと、地球全体の環境問題などSDGsにもつながるとよい。

○ 外国人には紙のチラシ、ホームページ、動画のどれがあるか？

⇒ 動画が一番わかりやすい。実際に動きがあるものがよい。チラシもよいが、紙だとすぐ捨ててしまうかもしれない。イラストもわかりやすくよいので動画と合わせて使うのがよい

○ 日本人側が外国人側の状況を理解しないといけない。母国に分別がないとハードルが高い。

○ 生活ガイダンスはどのようなタイミングでやるかが重要。本市は国に対して日本の社

会制度・生活様式を学ぶ機会を提供する制度を構築するよう要望している。

- 動画の内容とその動画を見るタイミングが重要。分別をしてくれという周知よりもなぜ分別する必要があるのかということが大事かもしれない。
- 市民総合窓口課のタブレットを活用して転入・入国の手続き時に見てもらうなど、動画を見てもらうタイミングが重要。

(4) その他、区役所への意見

- 国民健康保険、国民年金は前年の収入（アルバイト）で賦課されるが、大学4年生になるとアルバイトをストップしてしまうので払えなくなってしまう。外国人にはそういった制度を理解していない人が多く、年金の免除についても理解していない。
 - ⇒ 国民健康保険料は、6月に決定通知を送るが、毎年保険料が高いと窓口に来る方が多い。申告をする必要があるということを丁寧に説明しても翌年度にはまた高いと来る。国民健康保険の必要性や年金が将来につながるということを、引き続き丁寧に説明していくとともに、担当部署にはこういった意見を伝える。
- 意識の高い学生でも、日本でのゴミ出しはチャレンジであり、ガイダンスなど行うべきと考えていることが衝撃だった。
 - ⇒ チャレンジというのは悪い意味ではない。親からは他の国に行ったら、その国のルールを守るべきと言われている。難しくてもしっかりと理解して、留学生のマナーが悪いと言われたいようにしたい。